

第 71 回 全日本中学校通信陸上競技大会 北海道札幌大会要項

兼第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会標準記録突破指定大会

兼第 79 回国民スポーツ大会陸上競技北海道代表選手選考会

1. 主旨 全国で共通した実施要綱に基づいて各都道府県にて開催された競技会の記録を集計し、出場したすべての中学生の記録を日本陸上競技連盟のサイトに掲載して自身の努力の成果や挑戦の証を確認できるようにすることで、より多くの中学生が陸上競技の楽しさを体験し、目標に向かって取り組むことの重要性を学ぶ機会とする。また、本大会は第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録突破大会とする。
2. 主催 (公財) 日本陸上競技連盟 (公財) 日本中学校体育連盟 (一財) 北海道陸上競技協会
北海道中学校体育連盟
3. 主管 (一財) 札幌陸上競技協会
4. 後援 北海道教育委員会 NHK
5. 期日 令和 7 年 6 月 28 日 (土)・6 月 29 日 (日)
6. 会場 札幌市円山競技場 札幌市中央区宮ヶ丘 3 丁目 TEL 011-641-3015

7. 競技種目

・男子 (16 種目)

＜学 年 別＞ 1 年 100m、2 年 100m、3 年 100m

＜全学年共通＞ 200m、400m、800m、1500m、3000m、110mH(高さ 0.914m ハードル間 9.14m)、4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投(5.000kg)、円盤投(1.500kg)
四種競技 (①110mH【高さ 0.914m ハードル間 9.14m】 ②砲丸投【4.000kg】 ③走高跳 ④400m)

・女子 (14 種目)

＜学 年 別＞ 1 年 100m、2 年 100m、3 年 100m

＜全学年共通＞ 200m、800m、1500m、100mH(高さ 0.762m ハードル間 8.00m)、4×100mR
走高跳、棒高跳、走幅跳、砲丸投(2.721kg)、円盤投(1.000kg)
四種競技 (①100mH【高さ 0.762m ハードル間 8.00m】 ②走高跳 ③砲丸投【2.721kg】 ④200m)

《備考》※ハードルは次の規格で行う。

男子 110mH・・・個数 10 台、高さ 0.914m、スタートラインから第 1 ハードルまで 13.72m、ハードル間 9.14m

女子 100mH・・・個数 10 台、高さ 0.762m、スタートラインから第 1 ハードルまで 13.00m、ハードル間 8.00mm

※砲丸の重量は男子 5.000kg(四種競技は 4.000kg)女子は 2.721kg とする。

※円盤の重量は男子 1.500kg、女子 1.000kg とする。

※四種競技は上記の種目と順序で 1 日あるいは連続した 2 日で行う。2 日で行う場合は第 1 日に上記①②、第 2 日に上記③④の種目を行う。得点はワールドアスレックス(世界陸連、以下「WA」)が定めた混成競技採点表(男子十種競技、女子七種競技と同じもの)による。

8. 競技規定

- ①本大会は 2025 年度日本陸上競技連盟競技規則、および本大会要項、競技注意事項を適用する。
- ②トラック競技は写真判定システムによる全自動計時（電気計時）とする。
- ③風力計測はデジタル風速計を使用する。

9. 参加資格

- ①2025 年度日本陸上競技連盟登録会員であること
- ②北海道中学校体育連盟に加盟する札幌市内の中学校の生徒*1で、学校長が参加を認めた者。

- ③学校教育法 134 条の各種学校（1 条校以外）に在籍する生徒で、学校長が参加を認め、北海道中学校体育連盟に参加を認められた者。
- ④地域クラブ活動を通じて北海道陸上競技協会と日本陸上競技連盟に団体登録、または北海道陸上競技協会、札幌陸上競技協会に個人登録して活動している中学生で、その団体の所属長が参加を認め、札幌市中学校体育連盟に参加を認められた者。
- ⑤前項の②または③により参加する場合は、在籍する学校が所在する都道府県の大会に、日本陸上競技連盟に中学校登録をしている加入団体（学校）の所属により参加する。
- また、前項の④による参加は、北海道中学校体育連盟が定める参加資格に該当する場合に、北海道大会に参加できる。所属は、日本陸上競技連盟に団体登録をしている加入団体（地域クラブ活動等）、または個人登録をしている加盟団体（北海道陸上競技協会）もしくは加入団体（札幌陸上競技協会）とする。
- 前項の④による参加資格は都道府県によって異なるので、各都道府県の中学校体育連盟に確認すること。また、全日本中学校陸上競技選手権大会の参加に際しては、日本中学校体育連盟陸上競技部が定める「全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則」（別項参照）もあわせて満たす必要があるので、都道府県大会の時点から所属の選択に注意すること。
- ⑥リレー種目は、所属する地域クラブ活動が「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」または「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に該当しているか、あるいは登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。
- ⑦複数の種目（リレーを含む）に参加する競技者は、すべての種目に同じ所属で参加すること。種目によって異なる所属で参加することは認めない。
- ⑧参加生徒の引率者及び監督は、当該学校の学校長・教員（養護教諭も含む）・部活動指導員・外部指導者（コーチ）とする。但し、外部指導者（コーチ）の引率については、学校事情により、学校長・教員・部活動指導員が引率できないと学校長が判断した場合に適用される。
- ⑨参加者は、大会運営上必要なプログラム、ホームページ、掲示板、報道発表、大会結果記録速報への氏名・所属・学年の記載について了承するものとする。
- ⑩本大会終了後、アスリートランキングおよび（一財）札幌陸上競技協会ホームページにて、個人名・所属・記録を掲載するため、これを了承する者（個人情報については、本大会に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはありません。）
- * 1 所定の要件を満たす場合は、札幌市内の地域クラブで活動する札幌市外の生徒も札幌大会に出場することができる。

10. 参加制限

- ①1 人 2 種目以内（男女リレーを除く）とする
- ②各団体 1 種目 2 名以内とする
- ※今年度については、例年設定している特別枠（参加標準記録突破者など）は設けない
- ③学年別種目は、該当学年の生徒に限る。共通種目は、全学年共通とする
- ④リレーは、1 団体男女それぞれ 1 チームとする

11. 参加料 1 人 1 種目 1,800 円 1 人 2 種目 2,300 円 リレー 1 チーム 2,000 円

※自然災害、事件、事故及び疫病等により、大会が中止又は延期となった場合の参加料は返金しない。但し、一定期間事前に中止又は延期が決定された場合には、参加料の全額又は一部を返金することがある。

12. 申込方法

- ①アスリートランキング (<http://athlete ranking.com/>) よりエントリー（申込）を行ってください。
- ②エントリーには、割り当ての ID が必要です。また所属団体（各中学校、各チーム）に割り当てられている今年度のアスリートビブスのナンバー入力が必要です。
- ※ ID の割り当てのない参加希望者は所属団体代表者を通してメール (link@plum.ocn.ne.jp) で問い合わせをし、ID を取得してください。
- ※今年度の割り当てナンバーについて、中学校は中体連の割り当てナンバーです。クラブチームで出場する場合は、今年度登録のナンバーを使用してください。新規アスリートビブスは各学校、チームで準備してください。また、アスリートビブスは各自決められた大きさで作成してください。（縦 16cm×横 24cm）
- ③エントリーの時、必ず大会での公認記録を入力してください。（リレーも忘れずに入力してください。）札幌以外の場所でベスト記録がある場合は、記録を手入力した後、登録ボタンを押すことで記録が更新されます。
- ④選手のエントリーと併せて『審判登録』と『引率者』を必ずアスリートランキングの審判登録の欄に入力してく

ださい。

⑤初めて出場する選手は「選手登録」をしてください。

13. 申込期日

令和7年5月30日（金）までに入力を済ませてください。

※締切日を過ぎるとエントリーは一切できません。

※締切日までに入力したデータでエントリー完了と見なします。

※アスリートランキングにエントリー完了の通知機能はありません。

※大会参加料は5月30日（金）までに、下記の口座に振り込みをお願いします。

※大会参加料の振り込みが確認された時点で申込が完了する。連絡なく期限までに振り込まれない場合は申込をキャンセル扱いとします。振込が遅れる場合は事前に連絡をしてください。

振込先口座

北海道銀行 白石支店（店番号 156） 普通 1416725
陸上競技大会 実行委員長 秀島 起也
リクジョウキョウギタイイジツコウインチョウ ヒデシマ タツヤ

<振込の際の注意事項>

①振込の「**依頼人名**」は必ず**学校名またはチーム名の略称（例：シコトチュウ）**とすること。

②振込手数料は、参加する団体の負担とする。

③領収書は、大会当日に発行する。

④金額に誤りがないか必ず確認すること。

⑤送金連絡票の書式に従い、「**中体連負担金**」を合算して振り込むこと。

14. 表彰 各種目 8 位までに賞状を授与する。表彰式は行わない。各チームの引率者を通じてもらうこと。

15. 注意事項

①アスリートビブス（大きさ縦 16cm×横 24cm）および腰ナンバー標識は、各団体、個人で準備してください。

ただし、中長距離種目の 8 レーン以降の腰ナンバー標識は主催者側で用意します。

②不正スタートは、混成競技を除いて一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。混成競技においては、各レースでの不正スタートは 1 回のみとし、その後に不正スタートした競技者は、全て失格とする。

③男子 1500m、男子 3000m、女子 1500m は、**タイムレース決勝**とし、**番組編成は、申込時のタイム順**に行う。よって、申込時には、**忘れずに『公認のベスト記録』を入力すること。申し込み終了後に入力忘れによる番組編成の変更は行わない。※記録がない場合、練習の記録や予想記録を入力することが絶対にないようにしてください。**また、1500m、3000m で**周回遅れとなった選手は、競技を中止させることもあり得る。**

④学年別男女 100m、男子 200m、男子 400m、男子 800m、男子 110mH、女子 200m、女子 800m、女子 100mH は、**予選（タイムレース）・決勝の 2 ラウンド**とし、**決勝には、16 名進出、タイム順に 2 組で実施する。**A 決勝は、通信大会順位決定戦、B 決勝は、9～16 位決定戦とする。

⑤フィールド種目の予選通過ライン（走幅跳）及び最初の高さ（走高跳・棒高跳）は以下のとおりである。

（当日、変更する場合もある）

最初の高さ			予選通過ライン
	走高跳	棒高跳	走幅跳
男子	1m50cm	2m00cm	5m70cm
女子	1m30cm	1m60cm	4m65cm

最初の高さ（四種競技）	
	走高跳
男子	1m40cm
女子	1m20cm

⑥走幅跳、砲丸投、円盤投における計測ラインは以下のとおりである。

	走幅跳	砲丸投	円盤投
男子	5m00cm	7m50cm	12m00cm
女子	4m00cm	7m50cm	12m00cm

⑦フィールド種目においては、参加人数によって試技を 2 回（決勝トップ 8 は +2 回）とする場合がある。

⑧スパイクのピンの長さは、走高跳は 12 mm 以下、その他は 9 mm 以下とする。

⑨シューズについては、JAAF 規則 TR5.2 の通りとする。

⑩競技中に発生した損害疾病については、応急処置は主催者側で行うが、以後の責任は負わない。

16. 観戦者（保護者）の来場について注意事項

- ①観戦者（保護者）の入場は8:00以降とする。
- ②場内の駐車場は競技役員専用となるため、観戦者（保護者）の駐車はできない。
- ③来場する場合はできる限り公共交通機関を利用すること。自家用車で来場する場合は、近隣の有料駐車場を利用すること。競技場周辺での路上駐車、無断駐車は絶対にしないこと。
- ④大会本部および円山競技場は、いかなる事故、トラブルにも責任を負わない。
- ⑤観戦できる場所は「スタンド席」のみとする。
- ⑥芝スタンド、招集所、大会本部など、選手及び競技役員が使用する場所への立ち入りを禁止する。
- ⑦観戦者（保護者）の出入り口は、北小ゲート及び南小ゲートとする。保護者が利用できるトイレは、北大ゲート（100m ゴール側）トイレのみとする。
- ⑧競技場内においては、競技役員および大会本部の指示に従うこと。
- ⑨肖像権保護および盗撮防止の視点により、子以外の写真およびビデオ等動画の撮影は控えること。撮影できる場所は、「スタンド席」のみとする。
- ⑩トラック種目のスタート時および準備動作中に撮影することはできない。
- ⑪望遠レンズやフラッシュ撮影、赤外線撮影装置を利用した撮影、およびドローンによる撮影を禁止する。三脚や自撮り棒を使用しての撮影は、他の観客の迷惑になる場合があるので配慮すること。
- ⑫競技と関係のない目的での撮影、身体の一部をアップにしての撮影、透過撮影、その他迷惑行為を禁止する。競技場内で撮影した全ての画像、動画は、大会本部で確認させていただく場合がある。
- ⑬撮影した画像、動画の販売および営利目的の利用を禁止する。
- ⑭競技者及び競技者の保護者等の承諾を得ずに撮影したり、撮影した画像、動画をWeb上にアップロードしたりすることを禁止する。

17. その他

- ①本大会は、第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会、第 56 回北海道中学校陸上競技大会標準記録突破大会を兼ねる。
- ②別紙に定める第 52 回全日本中学校陸上競技選手権大会の標準記録を突破した者（公認記録）は、その大会に出場する資格を有する。
- ③本大会の3年生参加種目については、第 79 回国民スポーツ大会（少年B・少年共通種目）の選考会を兼ねる。
- ④プログラムは、当日朝受付で配付します。（各チーム2冊、個人は1冊）
- ⑤エントリー完了後、「申込一覧表」をプリントアウトし、プログラムとの確認をしてください。
- ⑥参加者は、万一の事故の場合、責任を持てませんので、傷害保険に加入しておいてください。
- ⑦審判員の方で駐車場を利用する場合、駐車証または審判手帳のご提示が必要となります。
- ⑧（一財）札幌陸上競技協会主管の大会のため、参加される所属団体の引率者は2025年度の審判登録が必要です。引率者の審判登録がなされていない場合は、大会に参加することができません。クラブチームでの参加も同様です。特に本大会は、審判の不足が予想されています。大会運営のため、できる限り多くのご協力お願いいたします。審判をしていただいた方には、昼食と交通費を支給します。審判料は、登録をされている方に支給します。
- ⑨各団体の監督および引率者は、審判員として競技運営にあたること（団体ごとに氏名及び希望の役職をアスリートランキング上で報告すること）
- ⑩各団体の監督及び引率者は、大会当日は競技運営にあたるため、引率する生徒への事前指導を徹底すること。
- ⑪本大会の要項、競技注意事項、タイムテーブル等は、（一財）札幌陸上競技協会 HP とアスリートランキングの本大会ページに掲載します。
- ⑫テントを利用する学校は、大会本部が指定する場所に設置してください。
- ⑬大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対するいかなる責任も負いません。

18. 問い合わせ先

（一財）札幌陸上競技協会ホームページ <http://jaaf-sapporo.jp>

（一財）札幌陸上競技協会 大会事務局 札幌市中央区中島公園1番5号札幌市中島体育センター内

TEL&FAX 011-532-2471 e-mail s_rikujou@k3.dion.ne.jp

<参考資料>

①競技方法

- (1) 各都道府県大会に出場したすべての競技者の記録を日本陸連で集計し、種目ごとに全国ランキングを日本陸連公式ウェブサイトに掲載する。本大会要項の「6. 競技種目」の(1)(2)で定めた共通種目を各都道府県大会で独自に学年別で実施した場合も、ランキングでは共通種目に出場したものとみなして掲載する。6. (1)(2)に定めていない種目をオープンで実施した場合はランキング対象としない。ランキングは 2024 年 7 月頃から、大会が終了し日本陸連に報告された都道府県大会の記録から順次集計、掲載し、すべての都道府県大会の集計と修正等への対応が完了した 2024 年 8 月中旬頃に確定する。
- (2) 全国ランキングは、WAのポイントランキング制度におけるリザルトスコアを引用し(100m、200m、100m ハードル、110m ハードル、走幅跳は風力に応じたポイントの加減も適用)、各競技者の記録をポイントに換算して決定する。ただし、四種競技はポイントではなく記録(総合得点)により決定する。
* 本大会のハードル種目、投てき種目は規格がシニア用と異なるが、ポイントはWAのリザルトスコアをそのまま引用して算出する。
* 参考として、記録によるランキングも日本陸連公式ウェブサイトに掲載する。
- (3) 欠場、途中棄権、失格、記録なしなどにより対象となる記録がなかった競技者はランキングに掲載しない。四種競技は総合得点のみをランキング対象とし、種目ごとの記録は対象としない。また、日本陸連への登録が確認できない競技者は、各都道府県大会に出場しても記録を公認せず、ランキングからも除外する。
- (4) 複数のラウンドに出場した場合、最もポイントの高いラウンドのポイントをランキング対象とする。走幅跳は最もポイントの高い試技をランキングの対象とする。四種競技は総合得点が追風参考であってもランキングの対象とする。
* 風力を計測する種目は風力に応じてポイントが加減されるため、追風2.0m を超えた場合もランキング対象になり得る。また、風力に応じてポイントを加減することにより、最も記録の良いラウンドまたは試技と、最もポイントの高いラウンドまたは試技が異なる場合がある。

②表彰

- (1) 各都道府県大会の各種目(独自に実施した 100m 以外の学年別種目、オープン実施種目を除く)8位までに日本陸連と日本中学校体育連盟の連名による賞状を授与する。
- (2) 各都道府県大会に出場したすべての競技者(欠場、途中棄権、失格、記録なしの場合を除く)に、日本陸連公式ウェブサイトに掲載する全国ランキングを通じて記録証(JPEG 形式)と参加認定証(PDF 形式)を授与する。記録証は当該競技者の記録が全国ランキングに掲載された後に随時、閲覧時点の順位を記載したものを各自がダウンロードできる。参加認定証は全国ランキングの確定後にダウンロードできる。
- (3) 100m 以外の学年別種目、オープン実施種目は、各都道府県で独自の表彰を行うことはできるが、日本陸連からの賞状は授与しない。記録証、参加認定証は「10. 競技方法」の(1)によりランキングに掲載された場合のみ授与する。

③日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会「参加資格の特例」

◎学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍する中学生

- (1) 学校教育法134条の各種学校(1条校以外)に在籍し、都道府県中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。
- (2) 参加を希望する各種学校は以下の条件を具備すること。
 - ① 全国大会の参加を認める条件
 - ア 公益財団法人日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ 生徒の年齢及び修業年限が我国の中学校と一致している単独の学校で構成されていること。
 - ウ 参加を希望する学校にあっては、運動部活動が学校教育の一環として、日常継続的に当該顧問教員の指導のもとに、適切に行われていること。
 - ② 全国大会に参加した場合に守るべき条件
 - ア 全国大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ 全国大会参加に際しては、責任ある当該校校長・教員または部活動指導員が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に参加するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
 - ウ 大会開催に要する経費については、必要に応じて応分の負担をすること。

◎地域クラブ活動に所属する中学生

- (1) 地域クラブ活動に所属し、都道府県中学校体育連盟またはブロック中学校体育連盟の予選会に参加を認められた生徒であること。

(2)全国中学校体育大会に参加を希望する地域クラブ活動は以下の条件を具備すること。

①全国中学校体育大会の参加を認める条件

- ア (公財)日本中学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
- イ 生徒の年令及び修業年限が我が国の中学校と一致している(中学校に在籍している生徒であること)。
- ウ 地域クラブ活動にあつては、日常継続的に代表者もしくは指導資格を有する指導者の指導のもとに、適切に行われていること。
- エ 『学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン』(令和4年12月27日スポーツ庁・文化庁発出)の「II 新たな地域クラブ活動」を遵守していること。
- オ 当該競技を管轄する中央競技団体もしくは都道府県競技団体に登録されていること。かつ同じ内容で都道府県中学校体育連盟に登録していること(登録費については、都道府県中学校体育連盟の方針による)。
- カ 都道府県における予選会となる全ての大会において、競技役員や審判など運営上必要な事項に協力すること。
- キ 地域クラブ活動で全国中学校体育大会につながる大会に参加する場合、在籍中学校での大会参加は認めない。その逆も同様である。

②全国中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件

- ア 全国中学校体育大会開催基準を守り、出場する競技種目の大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
- イ 全国中学校体育大会参加に際して、地域クラブ活動においては、責任ある代表者もしくは指導者が生徒を引率すること。また、万一の事故発生に備え、傷害保険等に加入するなどして、万全の事故対策を立てておくこと。
- ウ 全国中学校体育大会開催に要する経費については、必要に応じて、応分の負担をすること。
- エ 団体競技における地域クラブ活動名での出場は1チームのみとする(複数のチームの参加はできない)。

③参加を認めない場合

- ア 全国中学校体育大会参加申込に際して、参加条件に虚偽の内容が判明した場合は参加を認めない。

令和6年度全国中学校体育大会 地域クラブ活動の参加特例における陸上競技部細則

日本中学校体育連盟 全国中学校体育大会「参加資格の特例」の(3)として「全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則」を以下の通り追加する。

(3) 全日本中学校陸上競技選手権大会参加の特例細則

在籍している学校の所属、または日本陸上競技連盟に登録をしている地域クラブ活動の所属のいずれかで参加できる。いずれの場合も、在籍している学校が所在する都道府県(※)より、標準記録突破指定大会、全日本中学校陸上競技選手権大会に、参加する(標準記録突破指定大会の参加資格は各都道府県中学校体育連盟が定める)。リレーは、「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」、「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」又は登録メンバー全員が同一学校に在籍している場合に限り、地域クラブ活動の所属で参加することができる。複数の種目(リレーを含む)に出場する場合、種目によって異なる所属から出場することはできない。

(※) 以下の2つの要件を満たす場合は、地域クラブ活動の登録所在地の都道府県より参加することができる。

- ①「地域移行モデル地区や自治体主導で地域移行を進めるために発足した地域クラブ活動」又は「地域移行の受け皿となっている地域クラブ活動」に在籍している場合
- ②在籍している学校に希望する部活動がないこと等の場合において、都道府県中学校体育連盟が都道府県をまたいだ大会参加を認めている場合。